



● 草の根パートナー型

平成21年度第一次補正予算による草の根技術協力事業 緊急経済危機対応-包括型採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ケニア
2. 事業名	ロイトキトック県小規模給水計画
3. 事業の背景と必要性	<p>国際ナショナル ウォーター プロジェクト (IWP) は2002年からのケニアにおける井戸掘削のノウハウが蓄積されているとともに、現地の上総掘り技術が有効であることは既に実証されていたことから、手段としての適切性や有効性が確認できている。2005年来のロイトキトック県の旱魃下の深刻な水不足、野生動物の脅威、不衛生な状態を早急に軽減・解消するためには、先行プロジェクトの成果を基に上総掘り技術移転を同県内の他の地域へ拡大し、井戸、家畜用溜池及び水飲み場を建設することが急務である。建設に当たっては先行プロジェクトの上総掘り技術指導者が中心となる。さらに、これら指導者による技術移転の持続性を可能にするために、上総掘り技術者によるCBO (Community Based Organization) を組織し、管理・運営の能力の強化を図る必要がある。組織化することで資金援助を受けることが可能となり、自立発展へ向けての持続可能性が増す。人材育成・技術移転事業の最終ステップとして重要な事業であると考えられる。</p>
4. 事業の目的	<p>上総掘り技術指導者がロイトキトック県の住民に上総掘り技術を移転し、旱魃状況下にある当該地域住民の安全な水へのアクセス環境が改善される。また、技術指導者にCBOを組織させて自立発展に向け管理・運営方法を指導する。</p>
5. 対象地域	リフトバレー州ロイトキトック県ロイトキトック郡、ロンボ郡、キマナ郡、クク郡、オロリカ郡、アンボセリ郡
6. 受益者層	ロイトキトック郡、ロンボ郡、キマナ郡、クク郡、オロリカ郡、アンボセリ郡の住民約10,000名
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 住民参加で上総掘り井戸が12本完成し、住民に安全な水場と衛生的な水が供給される。新たな上総掘り技術習得者が育成される。 2. 溜池の水源として上総掘りの井戸が完成し、家畜用の溜池と水飲み場が建設される。住民と家畜の水場が分離され、家畜にも飲料水が確保される。 3. 上総掘り技術指導者によってCBOが組織され機能している。
8. 実施期間	2009年12月～2012年3月 (2年4ヵ月)
9. 事業費	20,000千円
10. 事業の実施体制	<p>【IWP本部】 プロジェクトマネージャー、テクニカルアドバイザー各1名、国内調整員1名 【IWPケニア】 上総掘り技術者 (ケニア人) 2名、現地調整員 (ケニア人) 1名 【カウンターパート】 Ministry of Gender Children and Social Development, Department of Social Services</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 インターナショナル ウォーター プロジェクト
2. 活動内容	<p>開発途上国の水に困っている人々に対して、世界に類のないオリジナリティのある現地適応型技術：上総掘りの指導を行い、人々の自立と地域の開発・活性化を支援する。</p>